

自治体キャラバン



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

原発ゼロ、憲法から米原市民要求まで

「自治体キャラバン」は滋賀県労連を中心とする県民要求実現実行委員会と滋賀県社会保障推進協議会が長年取り組んできた歴史ある取組です。今年も県民の切実な要求を元に19市町に要請に出かけます。今年度の米原市は最初の2日に訪問されました。要請書は暮らし、消費税、社会保障、教育、平和など多岐にわたる分野の内容で構成されています。これまでの長年にわたる運動の積み重ねの中で明らかにした事実を土台に、今年の課題が詰め込まれています。

回答の概要

原発ゼロ、再生可能エネルギー

【回答】公共施設への再生可能エネルギーについてはガイドラインに基づき導入している。また市民に対しては住宅リフォーム補助金で創出エネルギー加算として補助をしている。

消費税増税中止、能力に応じた税制

【回答】社会保障財源として必要である。

既存施設活用で団体経費の削減

【回答】米原市では既存施設の改修で備えている。ホッケー以外にも有効的に活用するよう努める。

最低賃金の引き上げ

【回答】東京都は1000円を目指すとしており、米原市でも県を通じて要請する。

住居リフォーム制度、県にも要請

【回答】米原市では30年度から32年度まで子育て世帯等の移住定住支援等を目的で制度化している。県にも要望する。

マイナンバーは強制じゃない

【回答】マイナンバーは市民の利便性向上を目的に実施している。強制することなく弊害があれば利用拡大はしない。県にも要望する。

台風による農業被害の援手

【回答】竜巻被害については国が激甚災害に指定され農業者支援について発動され補正予算を組んだ。台風21号被害についても激甚災害指定を受けて支援していく予定である。

市独自の奨学金制度

【回答】平成30年度から実施しており、現在29人の学生が受給している。所得制限については、各世帯の状況を考慮し、判断している。

国民健康保険資格証短期証

【回答】負担の公平の原則から行っている。県制度となり県内で協議をしている。

生活保護のきめ細かな改善

【回答】適宜改定を行っている。相談者には速やかに相談の受けられるよう対応している。

障がい者雇用には

【回答】水増し事実は本市に該当しない。しかし1.96%と2.5%の法定雇用率を下回っている。達成を図り、計画的に雇用したい。

保育所職員等指導員の確保

【回答】給与改善に取り組んでいる。学童指導員は市で設定した賃金単価で委託料を支払っている。

参加した山脇議員の感想

11月2日に行われた自治

雑感

6日に米原市臨時議会が開催されました。主な議題は米原駅東口の新庁舎の入札終了に伴う契約議案と補正予算案として議長 副議長の改選です。庁舎建設については次号で述べたいと思います。議長・副議長選挙は現職の鐔田議長（清風クラブ）が再選、副議長には堀江議員（政策研究会 マイバラ）が選任されました。是非とも民主的で開かれた議会のために活躍ください。



体キャラバンに参加しました。この取組は、住民の要求をもとに、県下の労働組合や市民団体が共同し各自自治体と話し合う場として毎年行われています。この日は、米原市との懇談でした。当日は、あらかじめ文書で回答をいただき、各担当課の職員さんが多数参加されました。市民要求への、市の誠実な対応にうれしく思いました。

要請項目は、原発問題、自治体確立の問題など、議会の一般質問などでは、時間の都合でなかなか触れられない問題も十分に要請・懇談できました。

議会とは一味ちがった自治体キャラバンのよいところは、県下共通の課題が出され、他の自治体と比べて、どの点で米原市がすぐれ、また改善しなければならぬかがはっきりしてくることです。また、実際の生の要求を聞けることも大きなメリットです。

私は、今回の要請書や回答内容をしっかりとつかみ取り、米原市の施策がさらに住民の生活や福祉のために前進するよう、力を尽くしていきたいと思えます。